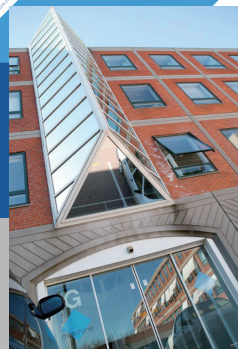
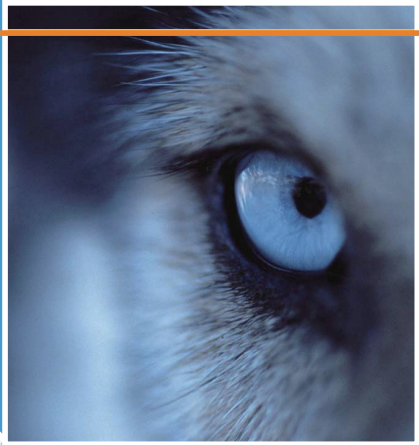


監視カメラシステム 商品カタログ

Milestone Systems is the leading global developer of open platform software for managing IP network-based video surveillance. Milestone XProtect™ software is powerful and advanced yet easy to use, reliable and proven. The open platform allows best-of-breed solutions to 'video enable' business: reducing costs, optimizing processes, protecting people and assets - and ultimately increasing value in your organization's products and services.



About Milestone

Milestone とは？

Milestone Systems A/S

設立 1998 年

本社 デンマーク・コペンハーゲン

販売形態 世界 10 都市に海外オフィスを展開

全世界 100 カ国以上の公認パートナー企業を通して販売

これまでに 50,000 ユーザーへの販売実績を持ち、

設立以来一貫して監視カメラ管理用システムの開発・販売に特化した専門メーカーです。

独自開発による、安定したソフトウェアと先進技術により、お客様の幅広いニーズにお応えします。

About XProtect™

XProtect とは？

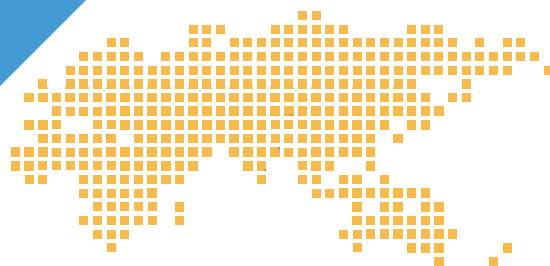
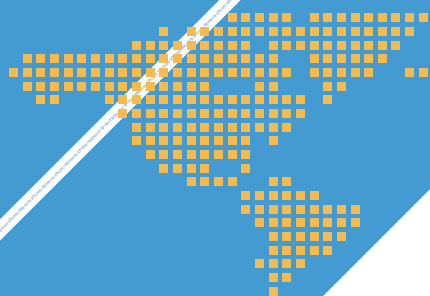
XProtect はベースソフトウェアとビューアソフトウェアで構成される、監視カメラ管理ソフトウェアです。

ベースソフトウェアは、カメラから配信される映像の管理と録画、

各設定項目保持を行います。レコーディングサーバーやイメージサーバーで構成されます。

ビューアソフトウェアは、ベースソフトウェアに対して外部よりアクセスし、

ライブ映像や録画映像を閲覧するクライアントソフトウェアです。



Milestone XProtect

XProtect の特長

Feature of XProtect

6年連続世界ナンバーワン

IMS リサーチ社の統計では、オープン・プラットフォーム・ネットワーク・ビデオ管理ソフトウェア分野において、6年連続(2005年から2010年)で同部門のトップシェアを誇っています。

マルチベンダー対応

XProtect は世界 84 メーカー、947 種類(2010年11月現在)のカメラ、ビデオサーバーに対応しています。
※ XProtect Corporate は 54 メーカー、718 種類(2010年11月現在)のカメラ、ビデオサーバーに対応

ネットワークカメラ 1 台から数万台まで管理が可能

小規模から大規模まで幅広く対応できるようにソフトウェアの設計が施されています。
そのため、カメラ 1 台の小規模なシステムから、カメラ 500 台、1,000 以上の大規模システムまでその威力を存分に発揮することができます。

既存で設置されたアナログカメラに対応

ネットワークカメラ以外にも、ビデオサーバーを通してアナログカメラの映像を取り込む事ができます。
既存アナログカメラと最新ネットワークカメラを組み合わせ、柔軟なシステムの導入が可能です。

新機種に対応

約 3 ヶ月に 1 度の割合で、カメラ用のドライバがリリースされます。
このドライバを適用することにより、設置後でも各カメラメーカーの新機種を常に導入することができます。

最新機能にアップグレード

ソフトウェアのバージョン更新は約 3 ヶ月から半年に 1 度の割合でおこなわれています。
新しいバージョンアップを適用して頂く事により、常に最新の機能をお使いいただけます。

フレーム数と圧縮方式

カメラ 1 台あたり最大 30 フレーム / 秒での MJPEG、MPEG4、または、H.264 での録画が可能です。
※最大フレーム数は、圧縮方式、解像度、ハードウェアのスペックに依存します。

柔軟なシステム設計

カメラやサーバー用パソコン、保存用のハードディスクなど、別途特注品である必要がありません。
そのため、その都度開発をする必要がなく、システム構築が容易に、短期間に行えます。

XProtect の商品ラインナップ

Product Lineup of XProtect

XProtect は 4 つの基本ソフトウェアと 2 つのクライアントソフトウェアがあります。

基本ソフトウェアには、上位版から「Corporate」・「Enterprise」・「Professional」・「Essential」、

クライアントソフトウェアには、「Smart Client」・「Remote Client」があります。

	XProtect™ Essential	XProtect™ Professional	XProtect™ Enterprise	XProtect™ Corporate
商品概要	高性能ビューアソフトと最大 26 台まで管理できるシングルサーバー・カメラ管理システムです。	多機能ビューアソフトと最大 64 台まで管理できる先進的なシングルサーバー・カメラ管理システムです。	多機能ビューアソフトとカメラ管理台数無制限を誇る、広範囲なマルチサーバー・カメラ管理システムです。	多機能ビューアソフトと高度なサーバー管理システム、フェイルオーバー機能を搭載したマルチサーバー・カメラ管理システムです。
機能				
カメラ最大接続台数	26	64	無制限	無制限
マルチサーバー対応	-	-	◆	◆
アーカイブ機能	◆	◆	◆	◆
マルチキャスト対応	-	-	-	◆
フェイルオーバー機能	-	-	-	◆
エクスポート機能	JPEG、AVI	JPEG、AVI、データベース	JPEG、AVI、データベース	JPEG、AVI、データベース
音声単方向（音声入力）	◆	◆	◆	◆
音声双方向（音声入出力）	-	◆	◆	◆
システム				
MJPEG 対応	◆	◆	◆	◆
MPEG-4 対応	◆	◆	◆	◆
MPEG-4 ASP 対応	◆	◆	◆	◆
MxPEG 対応	◆	◆	◆	◆
H.264 対応	◆	◆	◆	◆
ONVIF™ 対応	◆	◆	◆	◆
PSIA 対応	◆	◆	◆	◆
アーカイブのスケジュール管理	1 日最大 24 回	1 日最大 24 回	1 日最大 24 回	無制限
レコーディングサーバー接続台数	1	1	無制限	無制限
映像保存期間	無制限	無制限	無制限	無制限
IPv4 対応	◆	◆	◆	◆
IPv6 対応	-	-	-	◆
クライアント				
クライアント同時接続台数	5	無制限	無制限	無制限
Smart Client 対応	◆	◆	◆	◆
Remote Client 対応	◆	◆	◆	◆
拡張機能・外部連動				
XProtect Transact	◆	◆	◆	◆
XProtect Central	-	◆	◆	◆
SDK 対応	-	◆	◆	◆

XProtect のシステム概要

XProtect Overview

XProtect のシステム構成です。

レコーディングサーバーとイメージサーバー

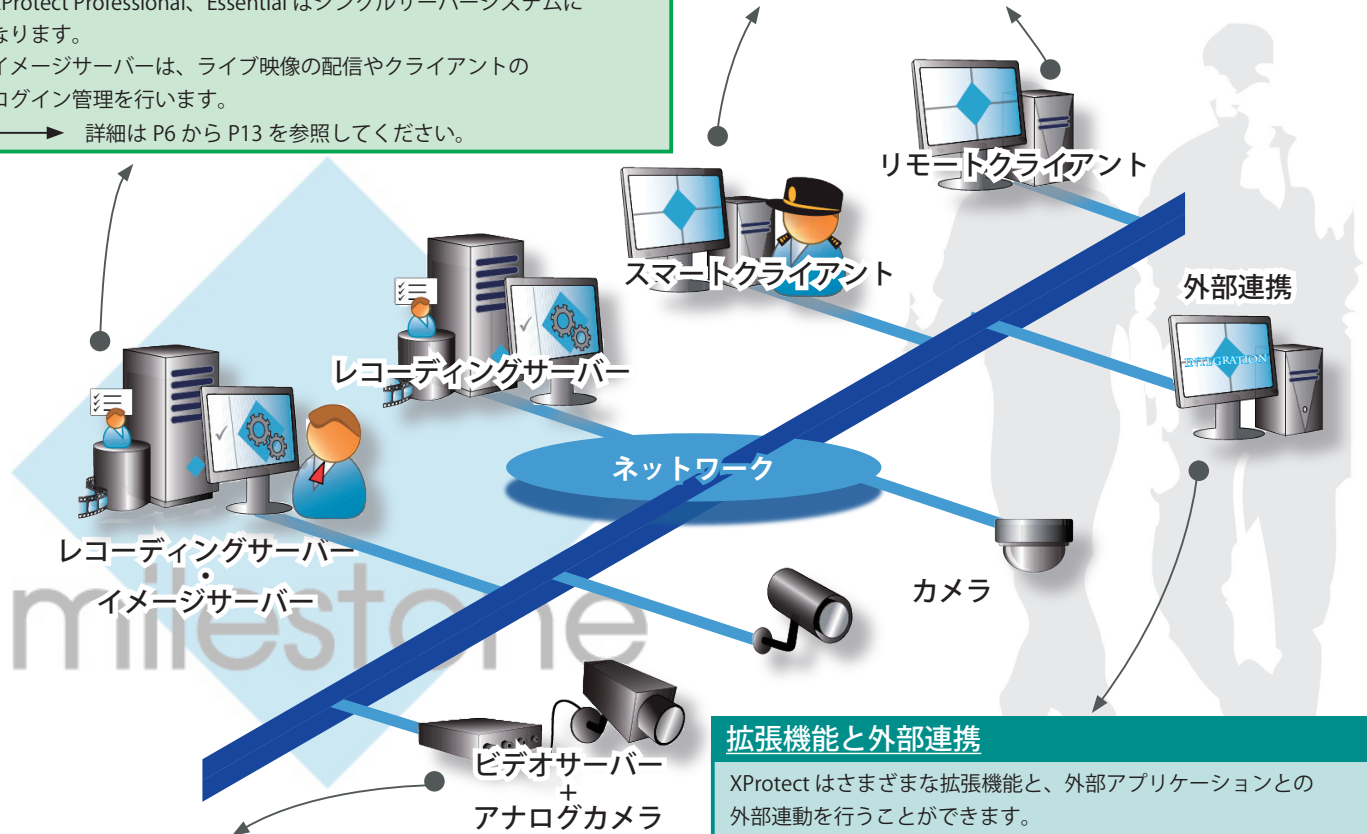
レコーディングサーバーは、映像録画を行うサーバーサービスです。XProtect Enterprise は無制限にサーバーを導入することができ、また、「マスター」「スレーブ」機能により、ひとつのクライアントから複数のサーバーに属しているカメラ映像を見ることができます。XProtect Professional、Essential はシングルサーバーシステムになります。イメージサーバーは、ライブ映像の配信やクライアントのログイン管理を行います。

→ 詳細は P6 から P13 を参照してください。

スマートクライアントとリモートクライアント

外部からサーバーに接続しライブ映像や録画映像を見る専用アプリケーションです。ライセンスを取得する必要が無く、インストール回数の制限もありません。また、同時接続の制限もありません※（ネットワーク帯域に依存します）。

→ 詳細は P14・15 を参照してください。
※ XProtect Essential の同時接続数は最大 5 クライアントまでです。



カメラとビデオサーバー

カメラやビデオサーバーを経由したアナログカメラからの映像はレコーディングサーバーに取り込まれます。レコーディングサーバーは設定に従って、映像の録画を行います。

拡張機能と外部連携

XProtect はさまざまな拡張機能と、外部アプリケーションとの外部連携を行うことができます。

- 拡張機能：XProtect Central、XProtect Transact、XProtect Matrix
外部連携：ノルウェー OPAX 社製「画像解析システム」、
イギリス Paxton Access 社製「入退室管理システム Net2」
スイス John Lay Electronic 社製「Smart Map & Smart Alarm」

→ 詳細は P16 から P23 を参照してください。
※ XProtect のシリーズ、バージョンによってご利用頂けない場合があります。

ソフトウェアとデバイスのライセンス

XProtect のベースソフトウェアは、基本ライセンスとカメラ（デバイス）ライセンスの 2 つのライセンス体系に分けられます。クライアントソフトウェアはライセンス不要です。

基本ライセンス (SLC)	<ul style="list-style-type: none"> 1 ユーザーにつき 1 ライセンス必要になります。 ユーザーが同一であれば複数拠点に分かれても複数のライセンスは必要ありません。 ※ XProtect Essential は 2 カメラライセンスが付属
カメラライセンス (DLK)	<ul style="list-style-type: none"> 1 カメラにつき 1 ライセンス必要になります。 ビデオサーバーや一部のカメラは、1 チャンネルにつき 1 ライセンス必要になります。

年間ソフトウェア更新契約 (PMA)

ソフトウェアの更新に関するオプション契約です。加入により以下のようなメリットがあります。

- メリット
- 最新バージョン・システムを常に入手可能
 - 最新機能、最新 OS に対応可能
 - メジャーアップグレードに対応
 - 上位版へのアップグレードの際、価格優遇制度（下取り制度）を活用できる

※ 「マイナーアップグレード」は細かい修正などが実施されます。
「メジャーアップグレード」は新機能追加、機能改修などが実施されます。
※ PMA の最長期間は導入より 5 年までです。
※ ソフトウェアの更新は原則年一回実施されます。
※ XProtect Corporate は導入当初より 1 年間、PMA の契約が必須となります。

XProtect™ Corporate

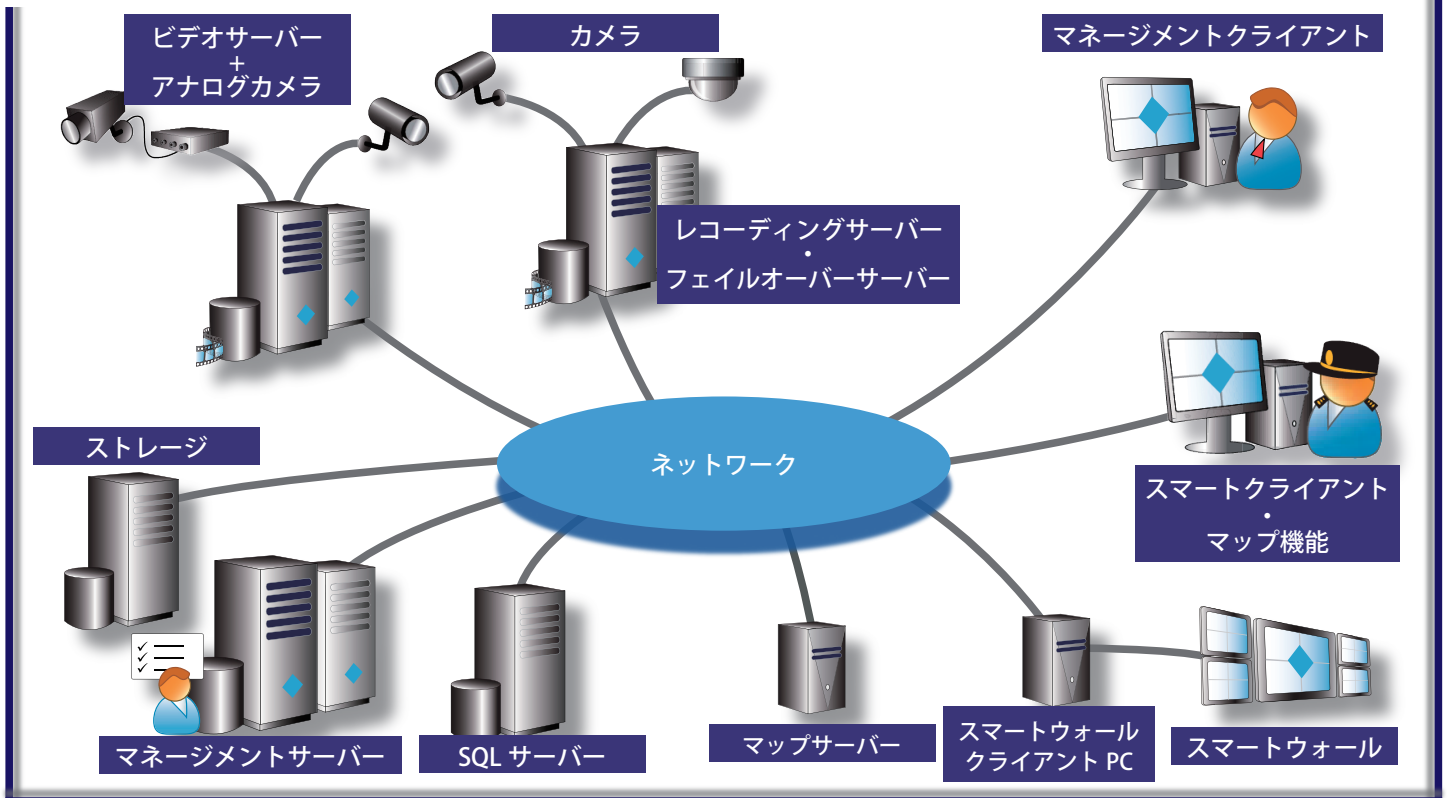
基本ソフトウェア「コーポレート」

milestone

XProtect™
Corporate

カメラの映像録画、とシステム管理を分割する事により、最高レベルの安全性と柔軟性、拡張性を保証します。レコーディングサーバーの冗長化し、管理・録画用のサーバーを別サーバーとした事で、高機能・高性能なシステム構築が可能です。無制限台数のカメラ管理が可能で、また高い拡張性を備えており、高いスペックを要するお客様に適しています。

■ システム概要



● 大規模向けソフトウェア

● カメラとサーバーの接続台数に制限はありません

カメラを無制限に接続することができます。
また、システム内のサーバー構成台数に制限がありません。

● マネージメントサーバーとマネージメントクライアント

マネージメントサーバーは XProtect Corporate の核となる機能で、ユーザーが行う各設定データをローカル・ネットワーク上にある SQL サーバーに保存します。
ユーザーはマネージメントクライアントを通して操作を行います。

● レコーディングサーバーとフェイルオーバーサーバー

映像を録画するレコーディングサーバーに、冗長化機能としてフェイルオーバーサーバーを構成する事ができます。
レコーディングサーバーが停止した際に、フェイルオーバーサーバーが代替のレコーディングサーバーになります。

● データベース保存領域制限はありません

XProtect Corporate はレコーディングサーバーに、無制限で録画データベースの保存を行う事ができます。
より柔軟にハードディスクとストレージの構成を行う事ができます。

■ XProtect Corporate の特長

◆ ライセンス体系

基本ライセンス：1 顧客につき 1 ライセンス、カメラライセンス（1 カメラにつき 1 ライセンス）

◆ 年間ソフトウェア更新契約あり（導入当初より 1 年間は必須）

◆ 対応する映像圧縮方式 MJPEG、MPEG-4、MPEG-4 ASP、MxPEG、H.264

◆ 世界 54 メーカー、718 種類のカメラ、ビデオサーバーに対応（2010 年 11 月現在）

◆ 音声双方向機能搭載 音声双方向機能により一歩前進した映像管理を実現します。 ※ハードウェアのスペックに依存します。

◆ PTZ カメラ接続 カメラ毎にプリセット・ポジションの設定と自動パトロール・スキャンを行う事ができます。

◆ マップ機能とスマートウォール機能を搭載

XProtect Corporate のオプション商品です。

マップ機能はスマートクライアント上に任意で貼り付けた地図上でカメラの閲覧操作をするアプリケーションです。

スマートウォールは無制限に映像を表示することができる大規模管理向けのアプリケーションです。

■ 最小サーバースペック

マネージメントサーバー

OS	Microsoft Windows Server 2008 (32 ビット・64 ビット)、Windows Server 2003 (32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Xeon 2.0GHz (Dual Core 推奨)
RAM	1GB (2GB 以上推奨)
ネットワーク	1G ビット推奨
ディスプレイ	PCI、AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768 推奨、画面色：16 ビット
ハードディスクタイプ	E-IDE、PATA、SATA、SCSI、SAS (7200RPM またはそれ以上)
ハードディスク容量	最小 100GB の空き容量 (カメラ台数と録画設定による)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン Internet Information Service (IIS) 5.1 またはそれ以上のバージョン Windows Help (WinHlp.exe)

レコーディングサーバー / フェイルオーバーサーバー

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Dual Core Intel Xeon 2.0GHz (Quad Core 推奨)
RAM	1GB (2GB 以上推奨)
ネットワーク	1G ビット推奨
ディスプレイ	PCI、AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768、画面色：16 ビット
ハードディスクタイプ	E-IDE、PATA、SATA、SCSI、SAS (7200RPM またはそれ以上)
ハードディスク容量	最小 100GB の空き容量 (録画データは除く)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework SP1 またはそれ以上のバージョン

スマートクライアント

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	最小 1GB
ネットワーク	100M ビット以上推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768 (1280 x 1024 推奨)、画面色：16 ビット
ハードディスク容量	最小 100MB の空き容量 (カメラ台数と録画設定による)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン

※ 64 ビット OS の場合、サービスとアプリケーションは 32 ビットとして動作します。 ※詳しい仕様については、取扱説明書をご参照ください。
※接続するカメラの台数、フレームレート、クライアントの接続台数など設置環境により異なります。詳細は各営業担当までお問い合わせください。

■ 商品構成

基本ライセンス		カメラライセンス	
mile515	コーポレート基本ライセンス	mile516	コーポレートカメラライセンス
mile5151	同年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (導入後 1 年間は必須)	mile5161	同年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (導入後 1 年間は必須)
mile5152	同年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)	mile5162	同年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)
mile5153	同年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)	mile5163	同年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)
mile5154	同年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)	mile5164	同年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)
mile5155	同年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)	mile5165	同年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)

XProtect™ Enterprise

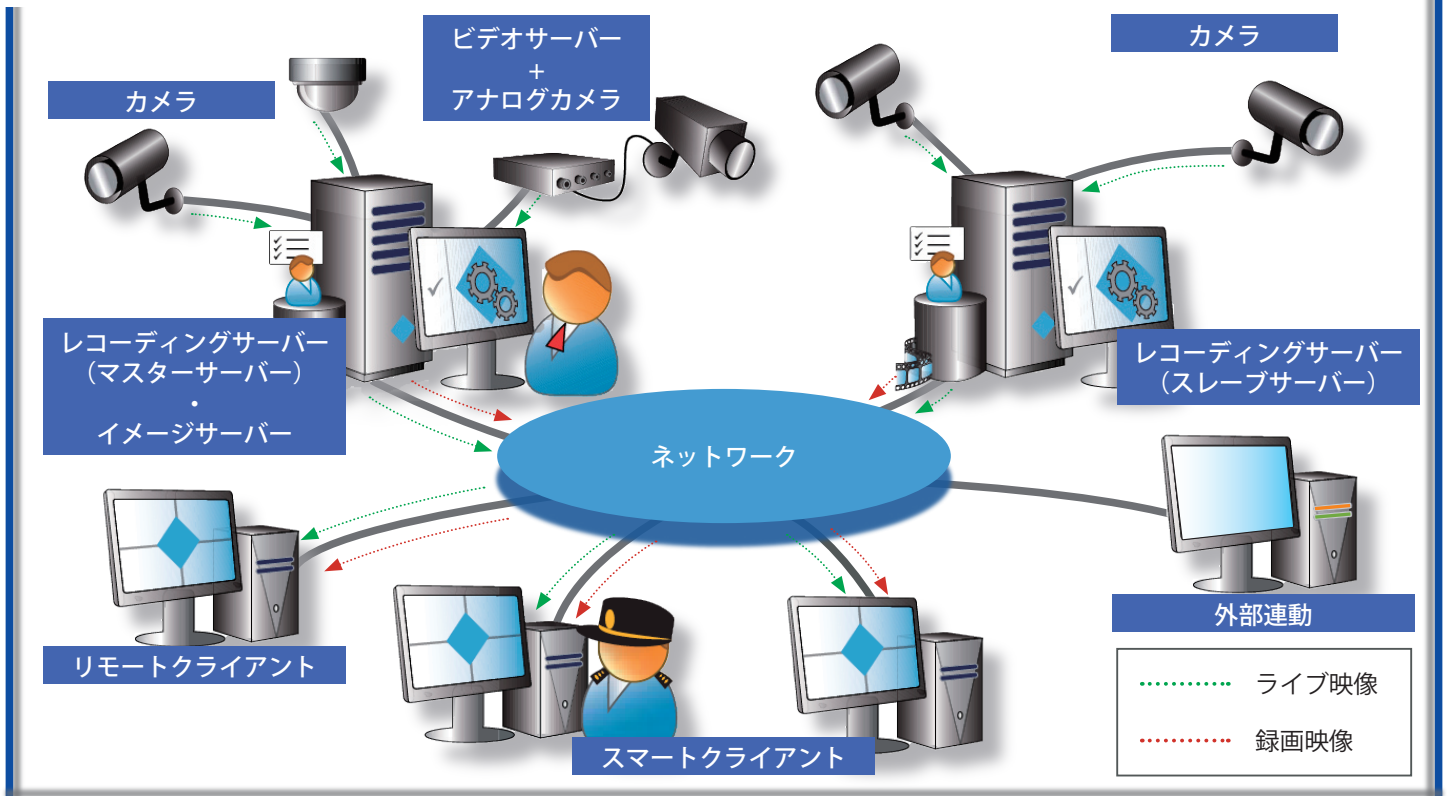
基本ソフトウェア 「エンタープライズ」

milestone

XProtect™
Enterprise

カメラから配信される映像の管理と録画、各設定項目保持を行う Milestone XProtect のベースソフトウェアの1つです。無制限にカメラを管理する事ができ、また、十分な拡張性と利便性を備えており、大規模な管理を要するお客様に適した総合的システムです。

システム概要



● 大規模向けソフトウェア

● カメラの接続台数に制限はありません

サーバー 1 台のカメラ接続台数 (最大 64 台) をひとつのユニットとし、複数台サーバー接続が可能です。

● マルチサーバーに対応しています

マスター&スレーブ機能により、複数のサーバーに接続されているカメラを一つのクライアントで一括して管理することができます。

● 無制限のクライアント接続

付属クライアントソフト「Smart Client」はサーバーに接続する台数に制限がありません。
※同時接続台数は、ネットワーク帯域に依存します。

● 拡張機能と外部連携

オプションソフトウェア XProtect Transact、XProtect Central との外部拡張が可能です。
外部ソフトウェア OPAX 社製「画像解析システム」、Paxton Access 社製「入退室管理システム Net2」、John Lay Electronic 社製「Smart Map & Smart Alarm」と外部連携が可能です。

■ XProtect Enterprise の特長

◆ ライセンス体系

基本ライセンス：1 顧客につき 1 ライセンス
カメラライセンス (1 カメラにつき 1 ライセンス)

◆ 年間ソフトウェア更新契約あり

◆ 対応する映像圧縮方式

MJPEG、MPEG-4、MPEG-4 ASP、MxPEG、H.264

◆ 世界 84 メーカー、947 種類のカメラ、ビデオサーバーに対応 (2010 年 11 月現在)

◆ アーカイブ機能搭載

録画映像はアーカイブにより長期間の保存をすることができます。
また、カメラ毎にアーカイブデータ保存先が割り振れるため、より柔軟にシステム構成を構築する事が可能です。

◆ 音声双方向機能搭載

音声双方向機能により一歩前進した映像管理を実現します。 ※ハードウェアのスペックに依存します。

◆ PTZ カメラ接続

カメラ毎にプリセット・ポジションの設定と自動パトロール・スキャンを行う事ができます。

■ 最小サーバースペック

レコーディングサーバー

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	1GB (2GB 以上推奨)
ネットワーク	1G ビット推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768、画面色：16 ビット
ハードディスクタイプ	E-IDE、PATA、SATA、SCSI、SAS (7200RPM またはそれ以上)
ハードディスク容量	最小 1GB の空き容量 (録画データは除く)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン (Viewer 用) Internet Information Service (IIS) 5.1 またはそれ以上のバージョン (PDA Server 用) Windows Help (WinHlp.exe)

スマートクライアント

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	最小 1GB
ネットワーク	100M ビット以上推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768 (1280 x 1024 推奨)、画面色：16 ビット
ハードディスク容量	最小 100MB の空き容量 (カメラ台数と録画設定による)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン

※ 64 ビット OS の場合、サービスとアプリケーションは 32 ビットとして動作します。 ※詳しい仕様については、取扱説明書をご参照ください。
※接続するカメラの台数、フレームレート、クライアントの接続台数など設置環境により異なります。詳細は各営業担当までお問い合わせください。

■ 商品構成

基本ライセンス		カメラライセンス	
mile100	エンタープライズ基本ライセンス	mile101	エンタープライズカメラライセンス
mile1001	同 年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (オプション)	mile1011	同 年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (オプション)
mile1021	同 年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)	mile1211	同 年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)
mile1031	同 年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)	mile1311	同 年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)
mile1041	同 年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)	mile1411	同 年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)
mile1051	同 年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)	mile1511	同 年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)

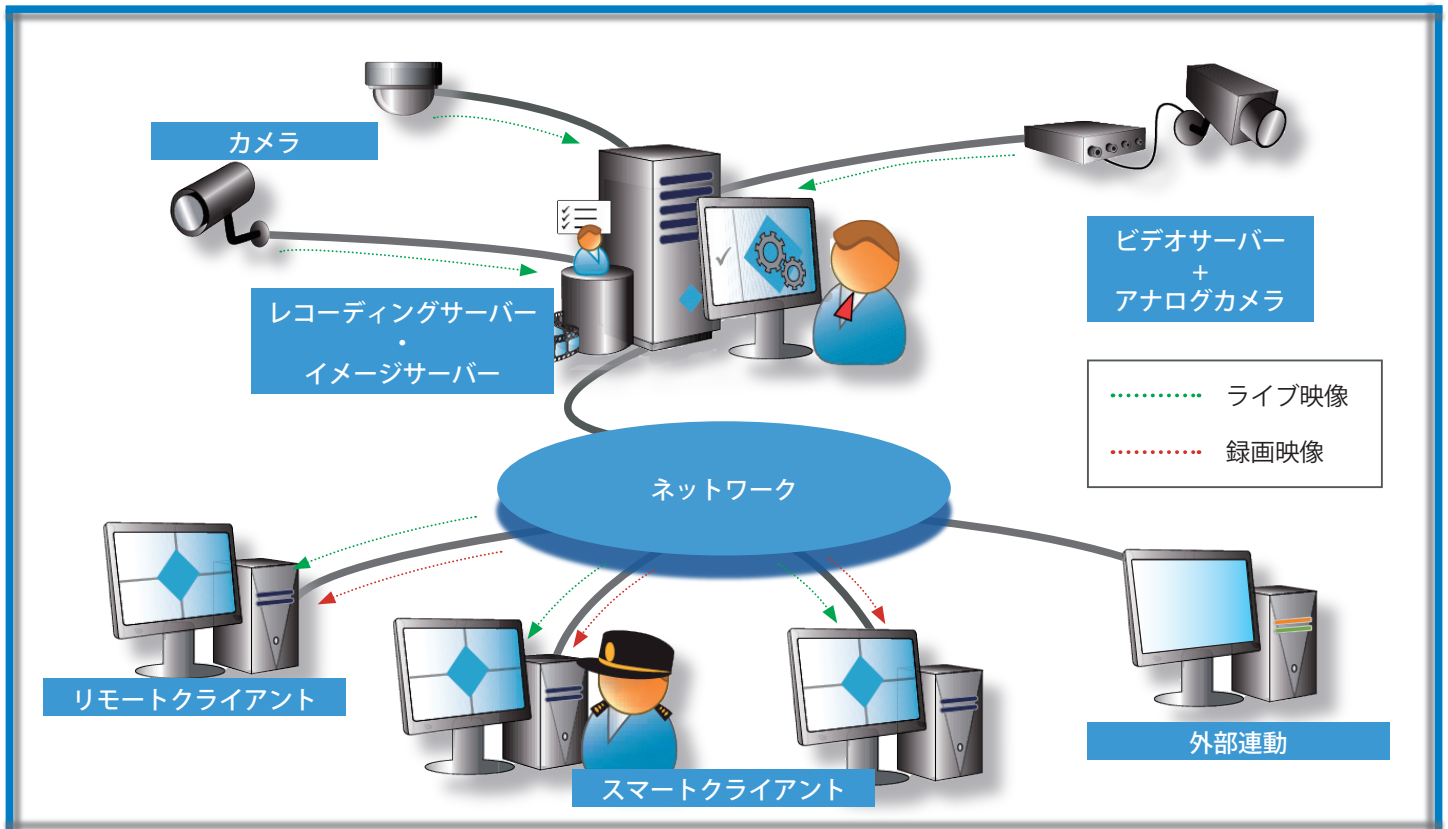
XProtect™ Professional

基本ソフトウェア「プロフェッショナル」

milestone

XProtect™
Professional

カメラから配信される映像の管理と録画、各設定項目保持を行う Milestone XProtect のベースソフトウェアの1つです。最大 64 台までのカメラを管理でき、また、標準的な機能を備えており、小規模から中規模向けの総合的システムです。



● 小・中規模向けソフトウェア

● カメラの接続台数は 64 台まで

ひとつのサーバーに最大 64 台のカメラの接続が可能です。

● シングルサーバーシステム

シングルサーバーシステムで一つのシステムには 1 サーバーのみの構成になります。

● 無制限のクライアント接続

付属クライアントソフト「Smart Client」はサーバーに接続する台数に制限がありません。

※同時接続台数は、ネットワーク帯域に依存します。

● 拡張機能と外部連携

オプションソフトウェア XProtect Transact、XProtect Central との外部拡張が可能です。

外部ソフトウェア OPAX 社製「画像解析システム」、Paxton Access 社製「入退室管理システム Net2」、

John Lay Electronic 社製「Smart Map & Smart Alarm」と外部連携が可能です。

■ XProtect Professional の特長

◆ ライセンス体系

基本ライセンス：1 顧客につき 1 ライセンス
カメラライセンス（1 カメラにつき 1 ライセンス）

◆ 年間ソフトウェア更新契約あり

◆ 対応する映像圧縮方式

MJPEG、MPEG-4、MPEG-4 ASP、MxPEG、H.264

◆ 世界 84 メーカー、947 種類のカメラ、ビデオサーバーに対応（2010 年 11 月現在）

◆ アーカイブ機能搭載

録画映像はアーカイブにより長期間の保存をすることができます。
また、カメラ毎にアーカイブデータ保存先が割り振れるため、より柔軟にシステム構成を構築する事が可能です。

◆ 音声双方向機能搭載

音声双方向機能により一歩前進した映像管理を実現します。 ※ハードウェアのスペックに依存します。

◆ PTZ カメラ接続

カメラ毎にプリセット・ポジションの設定と自動パトロール・スキャンを行う事ができます。

■ 最小サーバースペック

レコーディングサーバー

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	1GB (2GB 以上推奨)
ネットワーク	1G ビット推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768、画面色：16 ビット
ハードディスクタイプ	E-IDE、PATA、SATA、SCSI、SAS (7200RPM またはそれ以上)
ハードディスク容量	最小 1GB の空き容量 (録画データは除く)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン (Viewer 用) Internet Information Service (IIS) 5.1 またはそれ以上のバージョン (PDA Server 用) Windows Help (WinHlp.exe)

スマートクライアント

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	最小 1GB
ネットワーク	100M ビット以上推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768 (1280 x 1024 推奨)、画面色：16 ビット
ハードディスク容量	最小 100MB の空き容量 (カメラ台数と録画設定による)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン

※ 64 ビット OS の場合、サービスとアプリケーションは 32 ビットとして動作します。 ※詳しい仕様については、取扱説明書をご参照ください。
※接続するカメラの台数、フレームレート、クライアントの接続台数など設置環境により異なります。詳細は各営業担当までお問い合わせください。

■ 商品構成

基本ライセンス		カメラライセンス	
mile015	プロフェッショナル基本ライセンス	mile016	プロフェッショナルカメラライセンス
mile0151	同 年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (オプション)	mile0161	同 年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (オプション)
mile0152	同 年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)	mile0162	同 年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)
mile0153	同 年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)	mile0163	同 年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)
mile0154	同 年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)	mile0164	同 年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)
mile0155	同 年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)	mile0165	同 年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)

XProtect™ Essential

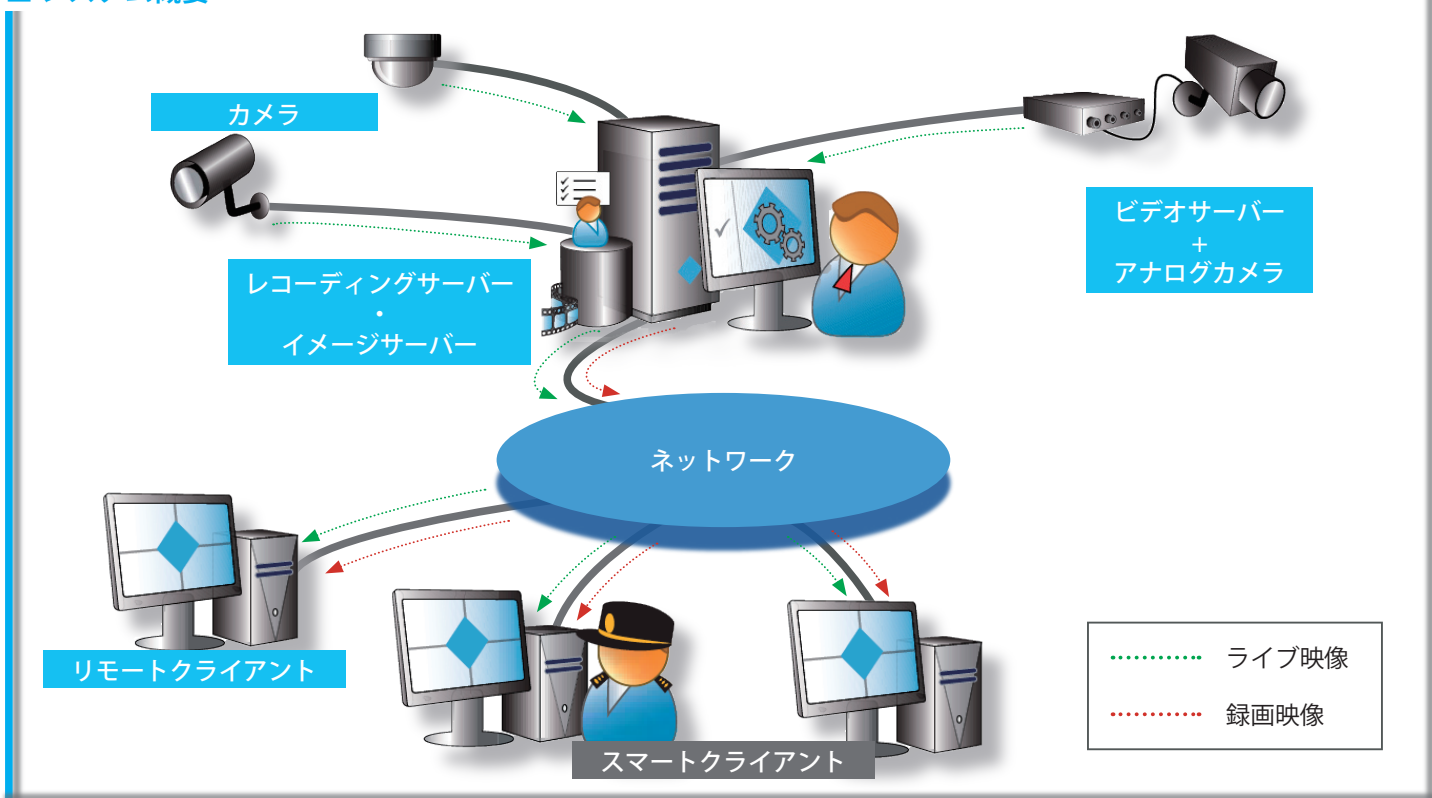
基本ソフトウェア「エッセンシャル」

milestone

XProtect™
Essential

カメラから配信される映像の管理と録画、各設定項目保持を行う Milestone XProtect のベースソフトウェアの1つです。最大 26 台までのカメラを管理でき、また、基本的な機能を備えており、小規模の管理を要するお客様に適した総合的システムです。

■ システム概要



● 小規模向けソフトウェア

● カメラの接続台数は 26 台まで

ひとつのサーバーに最大 26 台のカメラの接続が可能です。

● シングルサーバーシステム

シングルサーバーシステムで一つのシステムには 1 サーバーのみの構成になります。

● 最大 5 台までのクライアント接続

付属クライアントソフト「Smart Client」はサーバーに最大 5 台まで同時接続が可能です。

※同時接続台数は、ネットワーク帯域に依存します。

● 拡張機能と外部連携

オプションソフトウェア XProtect Transact との外部拡張が可能です。

■ XProtect Essential の特長

◆ ライセンス体系

基本ライセンス：1 顧客につき 1 ライセンス (2 カメラライセンス付き)
カメラライセンス (1 カメラにつき 1 ライセンス) 最大 26 カメラまで

◆ 年間ソフトウェア更新契約あり

◆ 対応する映像圧縮方式

MJPEG、MPEG-4、MPEG-4 ASP、MxPEG、H.264

◆ 世界 84 メーカー、947 種類のカメラ、ビデオサーバーに対応 (2010 年 11 月現在)

◆ アーカイブ機能搭載

録画映像はアーカイブにより長期間の保存をすることができます。
また、カメラ毎にアーカイブデータ保存先が割り振れるため、より柔軟にシステム構成を構築する事が可能です。

◆ 音声双方向機能搭載

音声双方向機能により一歩前進した映像管理を実現します。 ※ハードウェアのスペックに依存します。

◆ PTZ カメラ接続

カメラ毎にプリセット・ポジションの設定を行う事ができます。

■ 最小サーバースペック

レコーディングサーバー

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	1GB (2GB 以上推奨)
ネットワーク	1G ビット推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768、画面色：16 ビット
ハードディスクタイプ	E-IDE、PATA、SATA、SCSI、SAS (7200RPM またはそれ以上)
ハードディスク容量	最小 1GB の空き容量 (録画データは除く)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン (Viewer 用) Windows Help (WinHlp.exe)

スマートクライアント

OS	Microsoft Windows 7 Ultimate、Windows 7 Enterprise、Windows 7 Professional、Windows Server 2008、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate、Windows XP Professional、Windows Server 2003 (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz またはそれ以上推奨
RAM	最小 1GB
ネットワーク	100M ビット以上推奨
ディスプレイ	AGP、または、PCI-Express、最小 1280 x 768 (1280 x 1024 推奨)、画面色：16 ビット
ハードディスク容量	最小 100MB の空き容量 (カメラ台数と録画設定による)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 またはそれ以上のバージョン DirectX 9.0 またはそれ以上のバージョン

※ 64 ビット OS の場合、サービスとアプリケーションは 32 ビットとして動作します。 ※詳しい仕様については、取扱説明書をご参照ください。

※接続するカメラの台数、フレームレート、クライアントの接続台数など設置環境により異なります。詳細は各営業担当までお問い合わせください。

■ 商品構成

基本ライセンス		カメラライセンス	
mile005	エッセンシャル基本ライセンス	mile006	エッセンシャルカメラライセンス
mile0051	同 年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (オプション)	mile0061	同 年間ソフトウェア更新契約 1 年間 (オプション)
mile0052	同 年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)	mile0062	同 年間ソフトウェア更新契約 2 年間 (オプション)
mile0053	同 年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)	mile0063	同 年間ソフトウェア更新契約 3 年間 (オプション)
mile0054	同 年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)	mile0064	同 年間ソフトウェア更新契約 4 年間 (オプション)
mile0055	同 年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)	mile0065	同 年間ソフトウェア更新契約 5 年間 (オプション)

XProtect™ Smart Client

ビューアソフトウェア「スマートクライアント」



XProtect 専用のビューアソフトウェアです。「ライブ」映像、「録画」映像、「設定」の3つの基本機能が同一アプリケーション上にあります。

ユーザーは、行いたい項目をクリックするだけで、自分の行いたい機能を実行できますので、操作の手間やわずらわしさを感じません。

● Smart Client - ライブ編 -

「ライブ」

接続されたネットワークカメラから配信されているライブ映像を閲覧する機能です。

あらかじめ設定したフォルダやレイアウトをビュー画面で選択する

事により、画面を切り替える

事ができます。

画面レイアウトは右の一覧の中から選択します。



● オーバーレイボタン

ビュー上に任意のボタンを配置し、さまざまなイベントや機能を実行することができるショートカットボタンです。

デフォルトでライブビュー上で録画映像を表示する事もでき、ライブと録画映像を比較して監視したい場合に有効です。

「ライブ」タブをクリックします。



● PTZ コントロール

PTZ カメラが接続されている場合、マウスでパン/チルト/ズーム操作ができます。また、あらかじめ設定したプリセットポジションへ移動させることもできます。

● デジタルズーム

デジタルズームは、配信された映像をデジタル処理により拡大表示する機能です。メガピクセルカメラでより効果を発揮します。



● デュアルモニター対応

デュアルモニターにも対応していますので、広範囲にわたる監視も可能です。

● 画面自動切替

画面を一定間隔で画面に切替表示させます。表示時間や表示させるカメラは任意で設定できます。複数カメラが設置されている場合に活用できます。

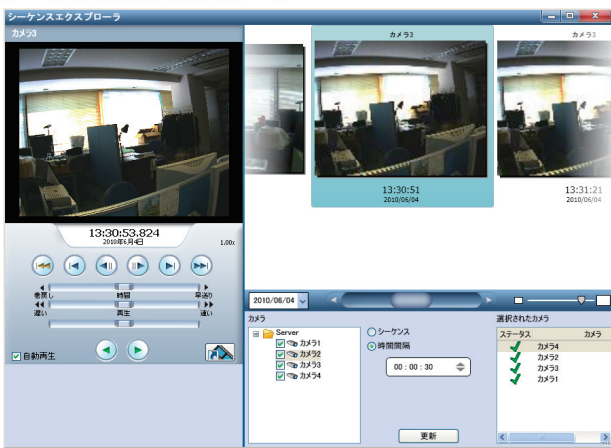
● これ以外にも...

モーション通知機能・・・モーション検知時、音声通知とともに、カメラ画面右上の赤いボタンが点灯します。

ログイン管理・・・アカウントによって、閲覧するカメラや機能の制限を割り当てることができます。

多言語対応・・・グローバルな職場にも対応できます

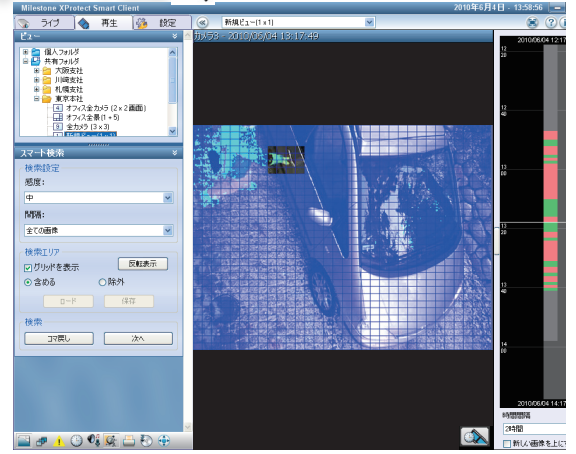
シーケンスエクスプローラ



過去の日付・時間を指定しモーション検知やイベントがあった映像をキャプチャー表示し、さらに指定した映像を再生することができます。カメラ1台から複数台の映像を一括して検索・表示させる事ができます。

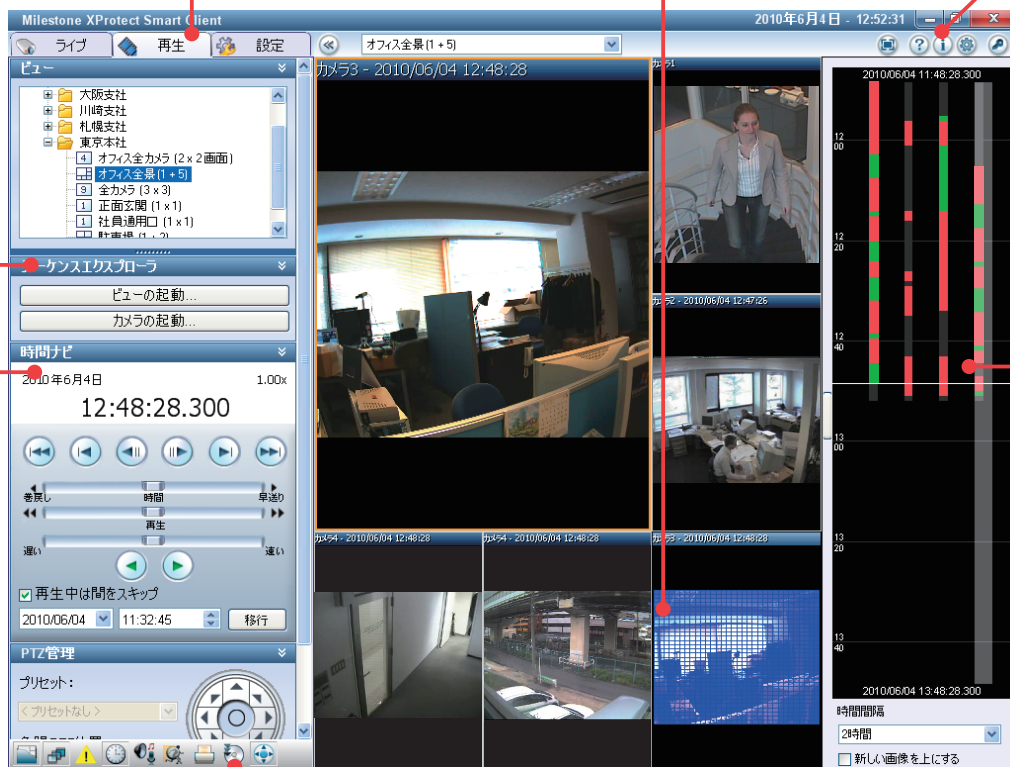
「再生」タブをクリックします。

スマート検索



画面上のエリアを指定し、その範囲内のみを検索することができます。これにより、検索時間の大幅な節約が行えます。

Smart Client - 再生編 -



「ブラウズ」
録画されたデータを閲覧するための機能です。録画された映像データの参照のほか、データの検索やエクスポート機能を備えています。

● **タイムライン**
録画データが存在する場合、ラインが緑と赤で表示されます。さらに、「モーション」がある場合は「赤」、そうでない場合「緑」でそれぞれ表示されます。これにより、「モーション」のある録画データが存在するかが、即座に判断することができます。

● 時間ナビ

映像が録画された時間を表示するほか、日時を指定しての再生、映像の再生、早送り、巻き戻しの操作を行います。また、コマ送り・コマ戻し、録画データの最初と最後を再生する事もできます。

● データのエクスポート



開始時間と終了時間を指定し、録画データをエクスポートする機能です。保存される形式は、動画は AVI 形式、静止画は JPEG 形式です。また、「DB エクスポート *」を使えばアプリケーション毎保存されるので、Milestone XProtect がインストールされていないパソコンでも映像データを閲覧することができます。 (*Enterprise/Professional のみ)

ビューアソフトウェアには、

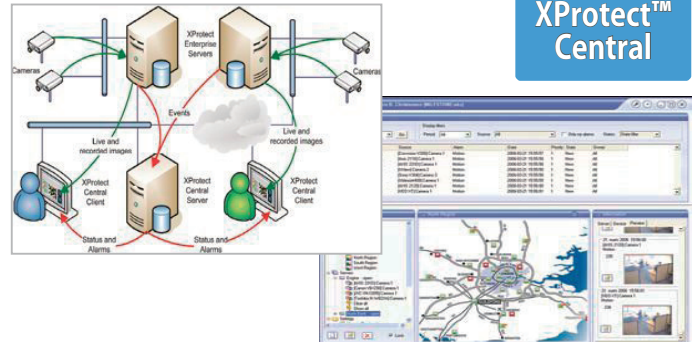
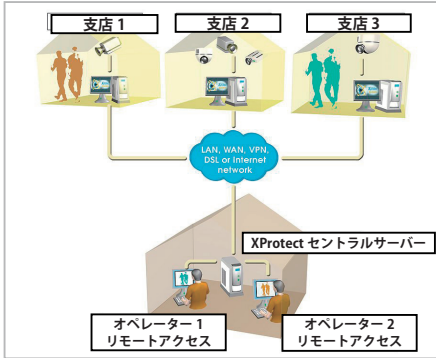
- ①より基本機能に絞った外部接続ソフトウェア「Remort Client」と、② PDA を使い無線で外部接続する「PDA Client」があります。

XProtect™ Central

セントラル



複数の拠点にまたがって XProtect Enterprise サーバーを管理している場合、お互いにネットワークで繋がっていても、一括で管理することはできません。しかし、



XProtect Central を導入することにより、XProtect サーバー、カメラ、I/O デバイスからのモーション検知やリレーの入出力をアラームとして取込み、それらをマップ表示や音声通知など、管理者に有益な情報を提供し、瞬時に状況の把握を手助けします。

■ 最小サーバースペック

OS	Windows XP Professional、Windows Server 2003 (32 bit or 64 bit*)、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate (全て 32 ビット・64 ビット)
CPU	Intel 2.00GHz 以上
RAM	512MB 以上 (Windows Vista の場合 1GB 推奨)
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 2.0 Internet Information Service (IIS) 5.1 またはそれ以上のバージョン

※ 64 ビット OS の場合、サービスとアプリケーションは 32 ビットとして動作します。

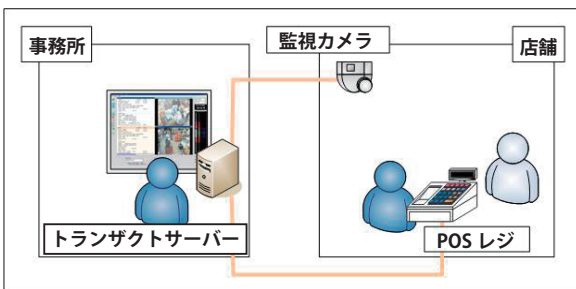
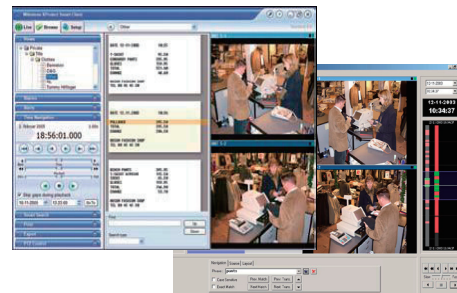
※ 接続するサーバーやカメラの接続台数など設置環境により異なります。詳細は各営業担当までお問い合わせください。

XProtect™ Transact

トランザクト



XProtect Transact は、XProtect と管理するネットワークカメラ監視システムと、POS システムや ATM 等の機器と接続、リンクさせることができるオプションソフトウェアです。リンクにより、POS データ (ジャーナル) と映像データを同時に閲覧することができます。



また、日付、時間、業務、レジ、ATM、商品名などのテキスト情報を入力することにより、その時の録画映像を検索できます。テキストデータとカメラ映像は、リンク付けされており、スクロールする映像と POS データがリンクした映像を見ることができます。これにより、窃盗や万引きだけでなく内部の不正も防止に役立ちます。

■ 最小サーバースペック

OS	Windows XP Professional、Windows Server 2003 (32 bit or 64 bit*)、Windows Vista Business、Windows Vista Enterprise、Windows Vista Ultimate (全て 32 ビット)
CPU	Intel 2.4GHz 以上
RAM	512MB 以上
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.0

※ 接続するサーバーやカメラ、POS などの接続台数など設置環境により異なります。詳細は各営業担当までお問い合わせください。

Smart Alarm & Map

スマートマップ & アラーム

開発元：John Lay Electronics AG 社

Smart Alarm、Smart Map はカメラからのイベント情報（入力信号やモーションイベント）を、画面上の地図で通知し、概要をリストアップするアプリケーションです。イベントがあった際、映像と共にリアルタイムで確認する事ができます。



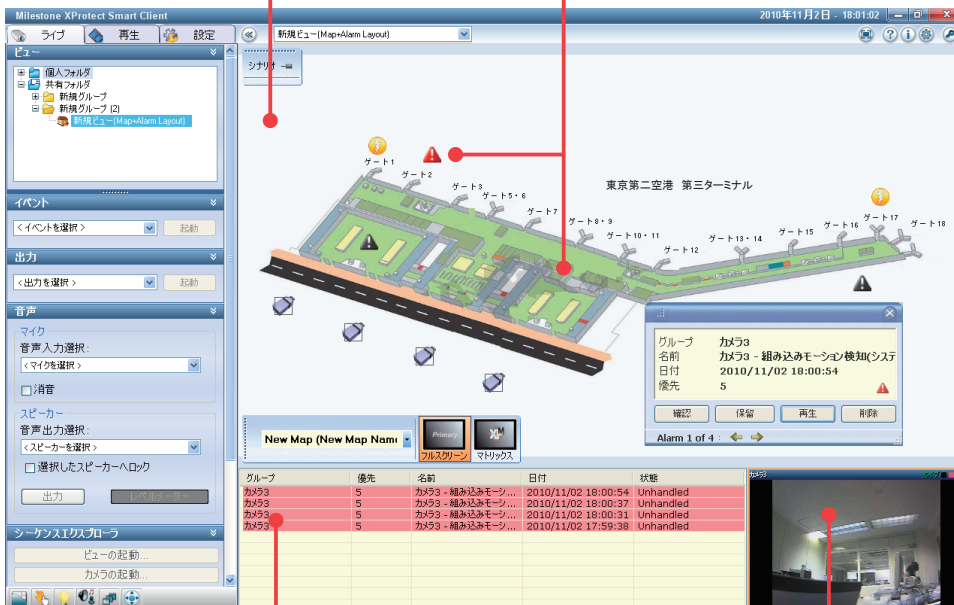
システム概要

Smart Map

任意の地図（画像ファイル）をアプリケーション上に貼り付け、視覚的にアラームを表示させることができます。

アラーム通知

XProtectの入力イベントやモーション検知イベントをアラームとして通知させることができます。また、指定したカメラの映像を別ウィンドウで表示させる事もできます。



マルチモニター対応

アプリケーション上のボタンをクリックする事により、最大2台のモニターにカメラ映像を映し出す事が出来ます。

Smart Alarm

カメラからのI/O イベントやVMD イベントの入力があつた際、その概要をウィンドウで通知し、モニターにそのカメラを表示させます。また、アラーム概要を同時にリストアップさせることができます。サポートするカメラはXProtectに依存します。

ホットスポット機能

画面上的カメラのアイコンをクリックすると、そのカメラの映像を映し出すことができます。

John Lay Electronic 社とは？

John Lay Electronics AG 社は、スイス・ルツェルン市に位置するマルチメディア関連機器販売メーカーです。1942年設立され、スイス国内でのパナソニック社の総代理店です。



OPAX

画像解析ソフトウェア



開発元：OPAX AS 社

OPAX は、カメラから配信された映像を解析し、監視領域内に侵入した物体を診断しアラームとして通知する画像解析システムです。解析対象物を「大きさ」、「高さ」に加え、これまで実現できなかった、「距離」の概念を加えた三次元処理をするため、対象物の変化や速度の計測を可能にするなど、より高精度の解析を実現します。また、木々の動き、影、降雨・降雪などは、その大きさ・速度から認識し、解析対象外として認識します。

■システム概要

OPAX のメカニズム

Original Video Feed

「映像の取り込み」。カメラから配信された映像を取り込みます。圧縮形式は MJPEG、画像解像度は 640 x 480 の VGA 形式が基本となります。

1

Segmentation

「分割」。取り込まれた映像から個々のピクセルの動きを観察し、背景と対象物、つまり、動作の異なるピクセルとを境界で分割します。

右図の場合、背景と影を含む人とを分割し、それぞれ黒色と赤色で表しています。

2

Clustering

「切り分け」。分割された対象物の中で、さらにピクセル同士をグループ分けし、重要なパーツと不要なパーツの切り分けをおこないます。

右図の場合、分割された対象物から、不要である人の影を切り離しました。

3

Classification

「判断」。それぞれの対象物は大きさ、速度、位置を含んだパラメータとして計算されます。パラメータの値は、予め定義された対象物のモデル値と比較され、対象物が何であるかを判断します。

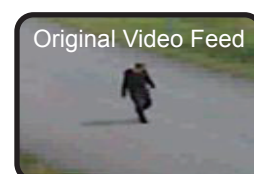
右図の場合、比較の結果、「人間」という判断が下されました。

4

Tracking

「追跡」。それぞれの対象物を捉え追跡を行います。また、OPAX は、一度映像から消えた対象物がどこで再度出現するかということをも予測できる独自のアルゴリズムを持っているため、例えば対象物が木や建物の影に隠れ再度現れた場合でも、継続して追跡することができます。

5



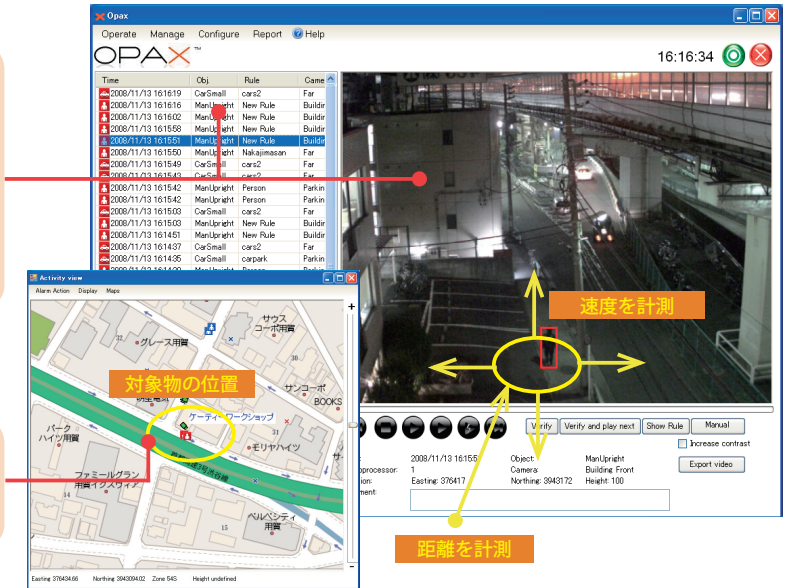
機能

アラーム機能

解析対象領域内にある対象物が人間と認知されると、アラームで通知します。通知方法は、アプリケーション画面上での通知し、対象物を赤枠で囲むほか、音による通知があります。また、認識されたアラームは画面左にリストアップされます。

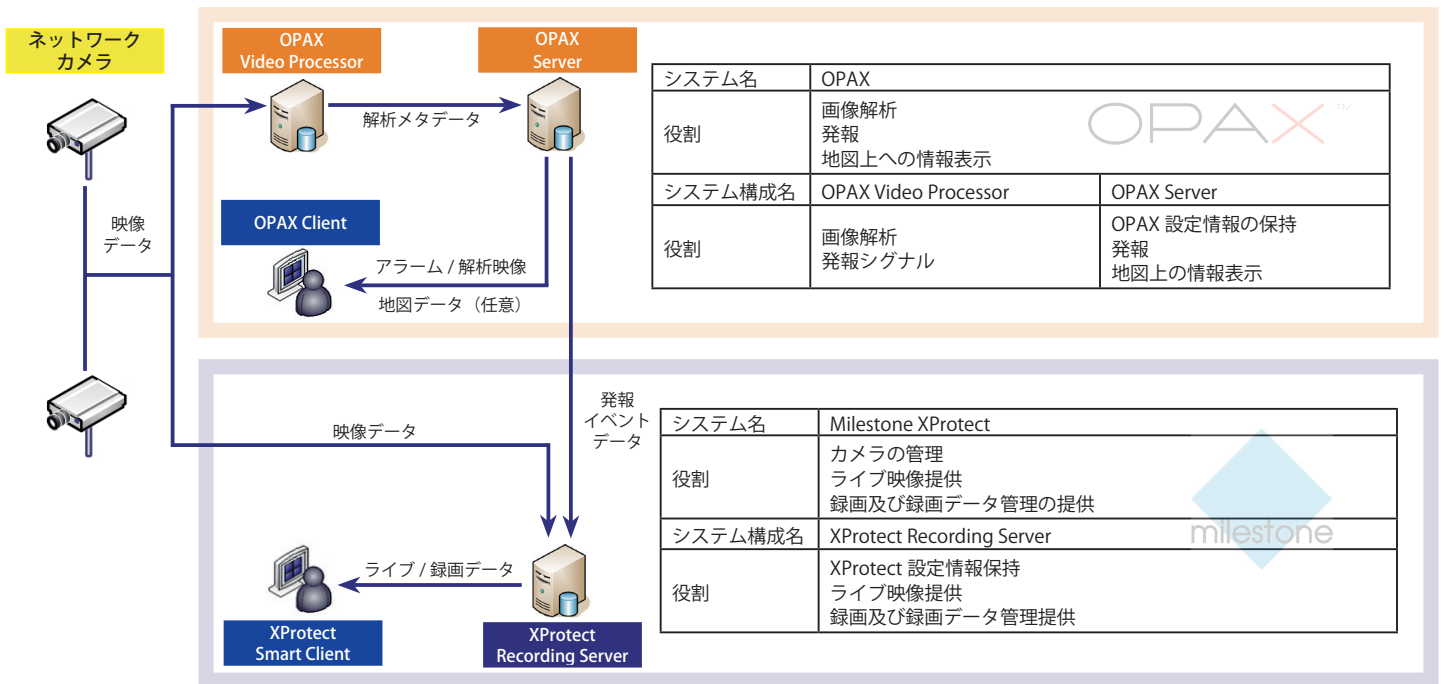
地図上への情報表示機能

任意の周辺地図を取り込むことにより、対象物の位置や移動速度を地図上に表示することができます。



XProtect との連動

OPAX は Milestone XProtect と連携することができます。



最小サーバースペック

OS	Windows 2003 Server (32bit)、Windows XP Professional、Windows 2008 Server
CPU	IntelCore 2 Duo CPU E8200、2.66GHz
RAM	3.5GB 推奨
ハードディスク容量	80GB
ネットワーク	1G ビット推奨
対応カメラ	Axis、IQin Vision、Panasonic、Arecont Vision、Optelecom

※表記は、最小のスペック値です。設置環境、カメラの台数、クライアントの接続台数によって異なります。詳細は、販売代理店までお問い合わせ下さい。

OPAX 社とは？

OPAX AS 社は、ノルウェー・オスロ市に位置する画像解析専門メーカーです。1960年にノルウェー国防総省に発足した自動照準対地ミサイルプロジェクトを前身とし、2005年より民間企業として、対物・対人画像解析システムを軍事関連施設をはじめ、空港、油田など高度なセキュリティシステムを必要とする施設に導入を進めています。

Net2 Access Control System

入退室管理システム


Paxton Access
開発元：Paxton Access 社

Net2はパソコンでアクセス管理、設定、履歴情報を運用する入退室管理システムです。非接触ICカードや指紋などを使って認証し、不特定多数の入場を制限し、リアルタイムでユーザーの入室・退室も履歴を管理する事ができます。1つのシステムで1ドアから最大500ドアまで、さらにネットワークを利用する事により全国の拠点に渡った統合管理を実現します。また、火災報知器や警備システムとの連携から監視カメラシステムとの連携まで、その拡張性にも優れ、オフィスや工場などのお客様の大切な資産を守ります。

■ 特長

パソコンを使ってどこからでもアクセスできます

Net2は同じネットワーク内にあるクライアントパソコンからアクセスし遠隔で管理できます。

時間と権限によって入退室の制限をします

複数のドアを管理する場合、ドア毎に「時間」、「期間」、「権限」により入退室の権限を設けることができます。

入退室の履歴を管理します

入退室の履歴はインラインで見る事ができますアクセスの状況を即座に把握できます。

メールや音声で知らせます

ユーザーの入退室やアラームを「トリガー」とし、音声やメールといった「アクション」を起こし、即座にその概要を通知します。

グラフィックでモニタリングします

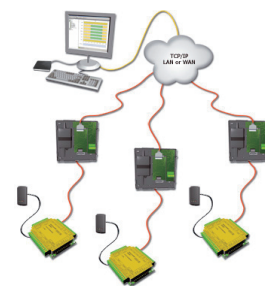
各ドアのアクセスやドアの開・閉状態を視覚的に確認することができます。

駐車場ゲートと連携します

感知距離の長い非接触カードリーダーも取り揃えており、駐車場のゲートと連動させる事によりゲートの入退室管理をすることができます。

監視カメラ管理システムと連携します

詳しくは次のページを参照下さい。

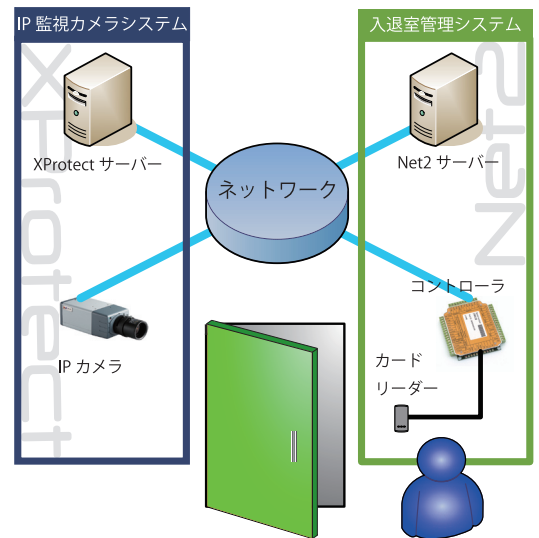


日時	ドア	ユーザー	状態
2008/01/01 00:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 00:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 00:10:00	2F	山田太郎	入室
2008/01/01 00:15:00	2F	山田太郎	退室
2008/01/01 00:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 00:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 00:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 00:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 00:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 00:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 00:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 00:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 01:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 01:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 01:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 01:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 01:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 01:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 01:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 01:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 01:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 01:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 01:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 01:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 02:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 02:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 02:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 02:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 02:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 02:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 02:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 02:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 02:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 02:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 02:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 02:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 03:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 03:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 03:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 03:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 03:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 03:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 03:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 03:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 03:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 03:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 03:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 03:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 04:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 04:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 04:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 04:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 04:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 04:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 04:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 04:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 04:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 04:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 04:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 04:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 05:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 05:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 05:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 05:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 05:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 05:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 05:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 05:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 05:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 05:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 05:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 05:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 06:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 06:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 06:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 06:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 06:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 06:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 06:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 06:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 06:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 06:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 06:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 06:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 07:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 07:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 07:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 07:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 07:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 07:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 07:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 07:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 07:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 07:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 07:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 07:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 08:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 08:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 08:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 08:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 08:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 08:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 08:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 08:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 08:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 08:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 08:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 08:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 09:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 09:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 09:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 09:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 09:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 09:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 09:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 09:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 09:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 09:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 09:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 09:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 10:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 10:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 10:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 10:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 10:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 10:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 10:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 10:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 10:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 10:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 10:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 10:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 11:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 11:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 11:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 11:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 11:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 11:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 11:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 11:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 11:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 11:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 11:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 11:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 12:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 12:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 12:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 12:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 12:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 12:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 12:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 12:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 12:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 12:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 12:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 12:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 13:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 13:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 13:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 13:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 13:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 13:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 13:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 13:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 13:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 13:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 13:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 13:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 14:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 14:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 14:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 14:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 14:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 14:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 14:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 14:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 14:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 14:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 14:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 14:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 15:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 15:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 15:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 15:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 15:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 15:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 15:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 15:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 15:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 15:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 15:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 15:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 16:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 16:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 16:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 16:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 16:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 16:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 16:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 16:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 16:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 16:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 16:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 16:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 17:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 17:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 17:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 17:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 17:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 17:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 17:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 17:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 17:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 17:45:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 17:50:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 17:55:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 18:00:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 18:05:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 18:10:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 18:15:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 18:20:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 18:25:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 18:30:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 18:35:00	1F	山田太郎	退室
2008/01/01 18:40:00	1F	山田太郎	入室
2008/01/01 18:45:00	1F	山田太郎</	

■ XProtect との連動

入退室管理システム Net2 は単独での運用に加え、XProtect Enterprise と Professional は、Net2 とインテグレートすることができます。2つのシステムはネットワークを利用して行いますので、専用配線をする必要はありません。ソフトウェアの設定を行うことにより、簡単に利用することができます。

Net2 は非接触カードのほか、暗証番号、指紋、虹彩、静脈などの認証方法を自由に選択できます。



■ 連動の仕組み

① ユーザーの認証

入室・退室の許可・不許可を認証します。



② 履歴画面

認証が許可された後、Net2の入退室履歴画面が表示されます。この画面の右端に表示されるカメラのアイコンをダブルクリックすると、監視カメラサーバーから録画映像を呼び出し、表示します。



③ カメラ映像表示

履歴に関する監視カメラ映像がポップアップ画面で表示されます。

④ カメラ映像の再生

左側の操作パネル上で、映像の再生、早送り、巻き戻し操作を行う事が出来ます。

■ 最小サーバースペック (Net2 V4.18)

OS (推奨)	Windows XP Professional (SP3)、Windows 7 Professional
OS (互換性あり)	Windows Server 2003(SP2)、Windows Server 2008(SP2)、Windows Vista Business(SP2)
CPU	Intel Pentium 2GHz (Intel Core2 Duo 推奨)
RAM	1GB 推奨
ハードディスク容量	20GB
モニター解像度	256色、1024 x 768
通信ポート/イーサネット環境	あり
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
Windows 管理者権限	インストール時に必要
ブラウザ	Internet Explorer 6 以上

※表記は、最小のスペック値です。設置環境、カメラの台数、クライアントの接続台数によって異なります。詳細は、販売代理店までお問い合わせ下さい。

■ Paxton Access 社とは？



Paxton Access 社は、英国ブライトン市に位置する入退室管理システム専門企業です。設立より一貫して入退室管理システムの設計から開発、販売を行っています。Paxton Access 社の製品は、世界中のユーザーにその使い易さとシステムの信頼性を提供します。

Intrinsa

監視カメラ専用サーバー・ストレージ



intrinsa®

開発元：Intrinsa, Inc. 社

XProtect を導入するにあたって、大量の録画データの保存方法とディスク管理が重要になります。Intrinsa Video Appliance™ はこの管理システムがプリインストールされた専用サーバー・ストレージです。

240TB* の録画データ保存用の大容量ハードディスクやディスク管理用アプリケーションである StorStac™ は、サーバー・ストレージの運用管理に最適です。また、RAID 5 または 6 を標準で装備し、録画データのバックアップ面でも高い信頼性を発揮します。

*サーバーとストレージの構成によります。

Intrinsa は監視カメラ専用サーバー・ストレージです。

Milestone XProtect Enterprise がプリインストール

カメラ管理ソフトウェアとして、1998 年の販売開始以来、2009 年まで全世界で累積 55,000 ユーザーの販売実績を誇る、Milestone XProtect を採用しています。

IP SAN を使い安価で無駄の無いディスク活用が可能

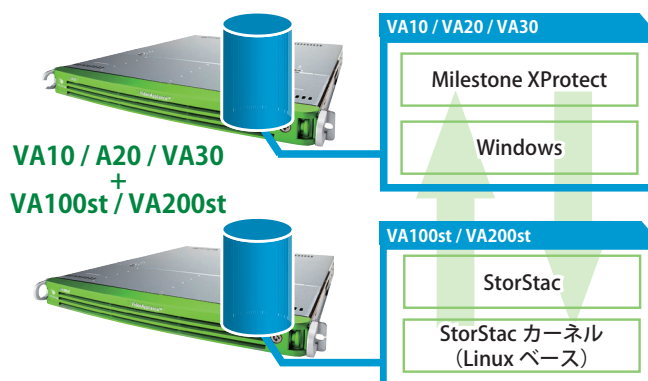
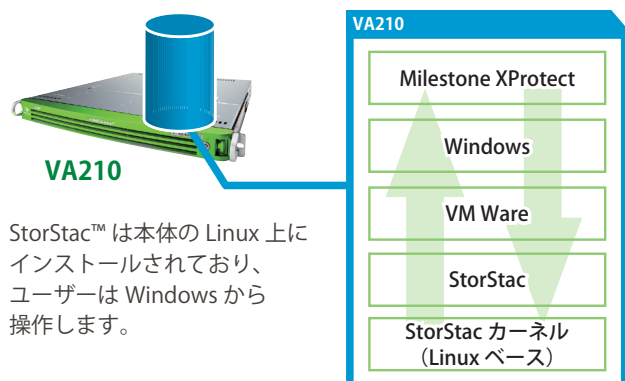
IP SAN を使うことで物理的に分かれている複数の HDD への読み書きが自動で最適化されるため、容量に無駄がありません。また、FC SAN に比べて安価にシステムを構築することができます。

カメラ毎に最適なディスク領域確保を簡単に設定可能

米国特許取得の iSCSI 技術を使用した SAN ディスク管理ソフトが標準装備されており、簡単な操作で最適なパフォーマンスで運用が可能です。

カメラディスク管理用アプリケーション StorStac™ 搭載

StorStac™ は Intrinsa Video Appliance™ シリーズにプリインストールされたサーバー・ストレージ監視ツールです。ディスクの障害発生時の内容の表示やアラート通知など、ストレージ管理・運用に特化したアプリケーションです。

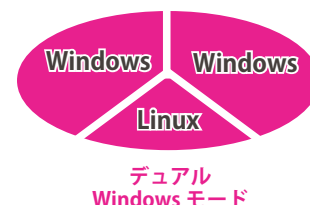


シングル Windows モードとデュアル Windows モード

OS モードとしてシングル Windows モードとデュアル Windows モードの 2 つのモードを搭載しています。

シングル Windows モードは 1 つの Windows が動作するモードの事で、全てのサーバーに装備されています。

デュアル Windows モードは 2 の Windows が同時に動作するモードの事で、例えば XProtect Enterprise サーバーを 2 つの Windows で同時に運用する事が可能です。



■ラインナップとサーバースペック

◆スペック - サーバー型

	VA210	VA10	VA20	VA30
OS	Microsoft® Windows Vista Business®、または、Windows Server 2008®			
CPU	Intel® Quad-Core Xeon® 2.33GHz	Intel® Core 2 Duo 3.0GHz	Intel® Quad-Core Xeon® 2.33GHz または、Intel® Quad-Core Xeon® 3.0GHz	Intel® Quad-Core Xeon® 2.33GHz x 2、 または、Intel® Quad-Core Xeon® 3.0GHz x 2
RAM	4GB	2GB	4GB	6GB
ハードディスク容量	2、4、8TB (ホットスワップ対応)	- *1	- *1	- *1
RAID	RAID 5	-	-	-
LAN ポート (1Gbps)	2	2	2	2
グラフィック	VGA x 1、ATI ES1000 (32MB) グラフィック			
ラックマウント	1U	1U	1U	1U
電源	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V
電源周波数	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz
消費電力	650W x 2	300W	650W x 2	650W x 2
電源冗長	○	-	○	○
動作温度	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C
動作湿度	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %
外形寸法 (H x W x D)	43 x 437 x 648 mm	43 x 437 x 503 mm	43 x 437 x 648 mm	43 x 437 x 648 mm
StorStac™ 対応	○	StorStac™ Service Tool	StorStac™ Service Tool	StorStac™ Service Tool
拡張ストレージ	VA Expander™ (1 サーバーあたり 6、12、24TB)	VA200st (1 サーバーあたり 2、4、8TB) + VA Expander™ (1 サーバーあたり 6、12、24TB)		
VA Expander 接続可能台数	1 から 3 台	1 から 3 台 *2	1 から 3 台 *2	1 から 3 台 *2
対応 OS モード	シングル/ダブル Windows モード	シングル Windows モード	シングル Windows モード	シングル Windows モード

*1 VA10、VA20、VA30 は自身に録画映像を保存できません

*2 VA Expander を接続する場合、VA100st、または VA200st が必要です

◆スペック - タワー型

	VA80tr	VA110tr
OS	Microsoft® Windows Vista Business®、または、Windows Server 2008®	
CPU	Intel® Core 2 Quad® 2.66GHz	Intel® Core 2 Quad® 2.66GHz
RAM	4GB	4GB
ハードディスク容量	4TB	2TB、4TB、8TB
RAID	RAID 10	RAID 5
LAN ポート	3	1 または 3
グラフィック	VGA x 1	VGA x 1、DVI x 1、HDMI x 1
電源	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V
電源周波数	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz
消費電力	465W	465W
電源冗長	-	-
動作温度	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C
動作湿度	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %
外形寸法 (H x W x D)	427 x 178 x 531mm	427 x 178 x 531mm
対応 OS モード	シングル Windows モード	シングル/ダブル Windows モード

◆スペック - ワークステーション

	WS01 Workstation	WS02 Workstation
OS	Microsoft® Windows Vista Business®	Microsoft® Windows Vista Business®
CPU	Intel® Core-2 Quad 2.66GHz	Intel® Quad-Core Xeon® 3.0GHz
RAM	4GB	4GB
ハードディスク容量	500GB	500GB
LAN ポート	2	2
グラフィック	VGA x 1、DVI x 1	DVI x 4、HDMI x 4
電源	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V
電源周波数	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz
消費電力	465W	300W
電源冗長	-	-
動作温度	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C
動作湿度	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %
外形寸法 (H x W x D)	427 x 178 x 531mm	43 x 437 x 503 mm

◆スペック - 拡張ストレージ

	VA Expander	VA100st	VA200st
管理アプリケーション	-	StorStac™ I/O Engine	StorStac™ I/O Engine
保存容量	6TB (500GB x 12)、12TB (1TB x 12)、24TB (2TB x 12)	2、4、8TB	2、4、8TB
RAID	RAID 5 または RAID 6	RAID 5	RAID 5
ホットスワップ対応	○	○	○
スロット	12 本	6 本	6 本
ラックマウント	2U	1U	1U
電源	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V	AC100 ~ 240V
電源周波数	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz
消費電力	800W	300W	650W
電源冗長	○	-	○
動作温度	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C
動作湿度	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %	8 ~ 90 %
外形寸法 (H x W x D)	89 x 437 x 648 mm	43 x 437 x 503 mm	43 x 437 x 648 mm
VA Expander 接続可能台数	-	1 台	1 から 3 台

※各サーバーのラインナップ、スペックは 2010 年 10 月現在のものです。これらの情報は予告無く変更される場合があります。

■ Intransa 社とは？



Intransa 社はアメリカ合衆国カリフォルニア州シリコン・バレーに位置するサーバー・ストレージの専門メーカーです。3 人の技術者によって 2001 年に設立されて以来、ネットワークと IT 分野でのリーディングカンパニーとなりました。Milestone 社をはじめとするカメラ管理ソフトメーカーや IP カメラメーカーとの技術協力により、IP カメラ専用ストレージの開発に成功しております。

Microsoft、Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008 は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。Intel、Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標または商標です。EM は EM Microelectronic-Marlin SA の登録商標です。Felica はソニー株式会社の登録商標です。MIFARE は NXP Semiconductors の登録商標です。その他、本カタログに記載されている、会社名 / 製品名 / サービス名は各社が登録商標または商標として使用している場合があり、各発売元または開発メーカーの承諾なく使用することを禁じます。なお、本文中では TM マークなどは明記しておりません。

本カタログに記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として提供されるものであり、従って当該情報が英国 Paxton Access 社、デンマーク Milestone Systems 社、株式会社ケーティーワークショップの責務として解釈されることがあってはなりません。デンマーク Milestone Systems、および John Lay Electronics AG、Paxton Access、OPAX AS、Intrinsa, Inc.、株式会社ケーティーワークショップは、本カタログおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負いません。本カタログを用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。

本書記載の仕様や情報は、2010年10月1日時点のものを掲載しております。仕様や情報は予告無く変更になる場合があります。また、ソフトウェアに関する記述は、特に断りのない限り2010年10月1日現在での最新バージョンを元としています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本カタログでの説明とは異なってしまうこともあります。ご了承下さい。

本カタログに記載される製品は事故・盗難等の万一の事柄を完全に防止するものではありません。万一お客様に事故・盗難等が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。保証は当社が販売した製品で製造時の不具合に起因すると思われる機能的な不具合を対象とします。システムが適切な指導の下で設置され、適切な状況の下で運用されている場合、保証の対象になります。ただしそれは特定の製品の使用回数に関する制限を受けず、当社は製品の不具合から生じるいかなる損失にも責任を負いません。当社のお客様が機器の購入時に支払った対価以上の責務を負いませんし、法的責務を除外するものでもありません。



株式会社ケーティーワークショップは
Milestone XProtect の認定販売パートナーです。



輸入元：株式会社ケーティーワークショップ
発行元：

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-31-7
イイダアネックス第1ビル 2F
TEL : 03-5491-5720 FAX : 03-5491-0572
<http://www.kt-workshop.co.jp>

◆お問合せは販売代理店まで、、、



安全に関するご注意

- ご使用になる前に、取扱説明書等をよくお読みの上、正しく設置してお使いください。
- 水、湿気、ほこり、煙、油気が多い場所に設置しないで下さい。故障や火災、感電の原因になることがあります。
- 商品の色は印刷の関係上、実際のものとは異なる場合があります。